

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を地域や家族の人にも理解してもらえるような取り組みが足りない。玄関に掲示したり、広報誌などに掲載するなどの取り組みが望まれる。	地域や家族ともに歩むホームとして、理解を得られるよう取り組む姿勢をめいかにする。	広報誌へ掲載する。玄関へ掲示する	3ヶ月
2	4	運営推進会議において利用者、家族の参加がなく家族を共に介護することに取り組んでいるかどうか、明確ではない。	家族と共にケアしていくことを、より一層明確にするように取り組む。	家族が、参加しやすいような運営推進会議の日程にする。日程調整は困難であるが、一人でも多くの人が参加できるようにする。	3ヶ月
3	8	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいるところであるが、その姿勢をより明確にするための方法として、運営規定等に記載できていないと、取り組む姿勢が弱いと思われる。	身体拘束をしない取り組みをしているが、内外ともに明確にする必要がある、	運営規定等に身体拘束禁止・秘密保持・人権や尊厳に関する姿勢を明確するよう文言を追加する	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。